

ひまわり学級 家庭科 学習指導案

指導者 川又 俊亮 (T1)
川上 由希 (T2)

1. 題材名 気持ちよく 服を着よう

2. 題材の目標

- ・衣服に関心をもち、日常着を快適に着たり、必要な手入れをしたりしようとする。
- ・衣生活を見直し、日常着の着方や手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりできる。
- ・日常着の手入れが必要であることが分かり、衣服の洗濯や手入れができる。
- ・衣服の保健衛生上の働きが分かり、日常着の着方や手入れについて理解している。

3. 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領の内容(1)「ア 衣服の働きがわかり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること」「イ 日常着の手入れが必要であることがわかり、ボタン付けや洗濯ができること」を受けて構成されている。日常着の着方と手入れに関する実習を通して、衣服への関心を高め、着方や手入れの基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に応じた快適な着方を考え工夫する能力を育てることをねらいとしている。

(2) 児童の実態と指導の経緯

本学級には、8名の子供たちが在籍している。子どもたちの実態から、昨年より小学校学習指導要領に則った教育課程で学習に取り組んでいる。個別の目標を設定するのではなく、「全員が同じ目標を達成できるようにするための個別の手立ての充実」を心がけて授業実践をしている。

子供たちは、家庭学習の宿題として、各家庭で「お手伝いカード」を行っている。S-M 社会能力検査の結果をもとに課題を設定する等、家庭毎に工夫を凝らしながら実践してきており、さまざまな仕事を覚え、生活能力を高めることができてきている。だが、「洗濯ものを干す」「洗濯する」「服をしまう」といった衣服に関する手伝いをしている子供はいない。また、実態調査から、クラスの子供全員が、自分で服を選ばず、保護者が選んだものを着用していることが分かった。保護者も、子供も「衣服」に関する自立に関心が薄いことが感じられる。

そこで、家庭科の学習を通して、「衣服」についての関心、知識、技能を定着させることが大切だと考えた。低学年の子供にも、衣服について早期から学習することは、自立するために大切な力になると考え、学習内容によっては低学年用の目標も設定し、高学年と一緒に参加させるようにした。

子供たちが目標を達成し、自分の力として定着させるためには、「家庭での課題」→「学校での学習」→「家庭での取り組み」というサイクルが有効であり、家庭とも連携を取りながら進めていく必要がある。「自分がいつも着ている服を使って学習を進めること」「必要感を持てる場の設定(げんきキャンプ)」が、より生活の課題に直結したものとなり、家庭での実践に繋がるものになると考え計画した。また、ワークシートを工夫し、保護者にも学習した内容が分かるようにし、家庭でも実践できるようにしていく。「衣服」について学んだ知識を応用して使える力にするために、げんきキャンプの荷物学習の際には、自分で服を選んだり、洗濯したりできるような題材計画を設定する。

本題材を学習し、今まで服を出してもらったり、洗ってもらったりして、「支えてもらっていた自分」から、自分の事は自分でできる「家族を支えられる」自立した子供になることを期待している。

4. 題材の評価基準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創造工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
○衣服に関心をもち、日常着を気持ちよく着たり手入れしたりしようとしている。	○衣服を気持ちよく着るために、日常着の手入れを考えたり、自分なりに工夫したりしている。	○日常着の着方と手入れに関する基礎的、基本的な技能を身に付けている。	○生活の場面や活動面・季節や気温によって衣服の選択ができる。 ○汚れの種類について調べ、衣服の手入れや洗濯の必要性など衣服の保健衛生上の働きがわかる。

5. 題材指導計画（全11時間扱い）

時数		学習内容と活動	指導や支援の手立て
1 2	衣服に関心をもち、衣服の働きについて調べようとする。	<p>すごしやすいおうちについてかんがえよう</p> <p>○教室やお家の温度を踏まえて、どういった環境が過ごしやすいか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン ・扇風機 <p>衣服の働きを考えよう</p> <p>○いろいろな衣服を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形、布地、サイズ、色、着方、伸び縮み <p>○布の性質を実験しよう。</p> <p>手触り、吸水性、通気性実験</p> <p>○衣服にはどんな働きがあるのか考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やYTR、小学校家庭科教科書を提示し、過ごしやすい家について発表させる。 ・日常着ている服を持参し、実際に触ったり着たりして考えがもてるようにする。 ・自分の服だけではなく、友だちの服にも触れ、相似点や相違点を見つけ、衣服の働きに着目できるようにする。 ・学習カードに、保護者のコメント欄を用意し、保護者への理解を促したり、子どもの意欲を高めたりする。 ・自分のもってきた衣服の特徴を記入し、どんな働きがある服なのかをワークシートに記入する。 ・衣服の手入れの道すじを確認する。 <p>選ぶ→着る→洗濯する→干す→たたむ ↑ ← ← しまう←</p>
3 (本時)	いろいろな場面に応じた衣服の選択ができる。	<p>○衣服のコーディネートについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い時（校庭で運動する時） ・暑い時（お出かけする時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活と関連させるために、自分の服を持参する。 ・生活場面を実際に分かりやすく提示し、様子をイメージできるようにする。 ・各シチュエーションに合わせて、マネ

			<p>キンに自分の服を着せ、発表し合う。</p> <p>その際、前時に記入したワークシートを参考にするこゝで選んだ理由を述べやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの服装をマネキンを見て、良いところ等を話し合う。
5	衣服を気持ちよく着るために、手入れの仕方を考える。	<p>気持ちよく着るには どんない工をしたらよいか</p> <p>○衣服の手入れにはどんなことがあるか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯、アイロン、ボタンつけ <p>○衣服を気持ちよく着るための工を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯されていない服、アイロンがかかっていない服、ボタンが取れている服、穴が開いている服、汚れがついている服を用意し、手入れの種類について見つけやすくする。
6	衣服の汚れについて考える。	<p>○汚れたままにしていたらどうなるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布の汚れによる性能の変化 ・放置による汚れ落ちの低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れている服を用意し、洗濯の必要性について考えられるようにする。 ・汚れを早く落とす必要性を感じさせるために、汚れがついてからの時間の経過が違ふ衣服をいくつかする。
7	表示を調べて衣服に合った洗濯の仕方を知る。	<p>どうすれば きもちよく着られるせんたくに なるのだろう</p> <p>○衣服についている表示を調べる。</p> <p>○洗濯機と手洗いの違いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯機の方が楽。 ・手洗いの方が節水できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな表示マークを提示する。
8 9 10	洗剤を使って手洗いで洗濯をする。	<p>手洗いで洗濯しよう</p> <p>○靴下（低学年）、体操服（高学年）を工夫して洗濯する。</p> <p>○気付いたことや考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れを落とすのが大変だった。 ・きれいに落ちた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石鹼で洗った時間と、洗濯機で洗う時間を比較したり、労力を話し合ったり、洗濯後の服を見比べたりし、比較できるようにする。 ・洗濯の手順や方法を分かりやすく提示する。
11	日常着の手入れに関心をもち、自分の生活に生かそうとする。	<p>○自分で服を選んで、学校に着てくる。</p> <p>○げんきキャンプに行く時の服を自分で選んで荷物に詰める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での実践計画を立てる。 ・どうしてその服（着方）を選んだかを発表する。

6 個別の目標

評価の重点				評価の規準	具体的な評価の姿	評価の方法
関	創	技	知	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服について関心を持ち気温や季節の変化、生活場面に応じた着方をしようとしている。 ・気持ちよく着るための手入れをしようとしている。 	<p>A：それぞれの衣服の性質・素材の違いを捉えている。</p> <p>B：それぞれの衣服の形状の違いを捉えている。</p> <p>C：衣服に関心をもって触れている。</p>	<p>観察</p> <p>発言</p> <p>ワークシート</p>
○						
			○	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場面や活動面・季節や気温などに応じた着方について分かっている。 	<p>A：場に合った服を服の素材等を考慮しながら選択し、気持ちよく衣服を着るための方法を考えている。</p> <p>B：場に合った服を正しく選択し、気持ちよく衣服を着るための方法を考えている。</p> <p>C：場に合った服を、教師や友達のアドバイスをもとに選択することができる。</p>	<p>観察</p> <p>発言</p> <p>コーディネート作品</p> <p>ワークシート振り返り文章</p>
				本時		
	○			<ul style="list-style-type: none"> ・衣服を気持ちよく着るために、日常着の手入れを考えたり、自分なりに工夫したりしている。 ・場面に応じた日常着の着方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<p>A：実物を見て、手入れが必要な場所が分かり、どのような手入れが必要か発表している。</p> <p>B：実物を見て、手入れが必要な場所が分かり、自分なりに考えようとしている。</p> <p>C：手入れが必要な場所を教師と一緒に探したり、教えてもらったりする。</p>	<p>発表</p> <p>ワークシート</p>
			○	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れの種類について調べ、衣服の手入れや洗濯の必要性について分かる。 	<p>A：生活場面を考えて汚れの種類を考え、衣服の手入れや洗濯の必要性について発表している。</p> <p>B：自分なりに衣服の手入れや洗濯の必要性について考えている。</p>	<p>発表</p> <p>ワークシート</p>
		○		<ul style="list-style-type: none"> ・洗剤を使って手洗いによる洗濯ができる。 ・ボタンつけができる。 	<p>A：自分の考えた方法で洗濯を工夫して行い、気付いたことを発表している。</p> <p>B：正しい洗濯の仕方をして汚れを落としている。</p>	<p>観察</p> <p>発表</p> <p>ワークシート</p>

7. 本時の目標と展開 (3/1 1)

(1) 概要

本時は、低学年も含めた全員での学習形態をとる。「季節・気温に合っているか」「場面に合っているか」という「見合う観点」を明確にしながら、「衣服のコーディネート」の仕方について考えさせていく。学習した内容をより生活の課題に直結したものとなり、家庭での実践に繋げるために、子供たちには「いつも着ている服の中」から選択させるようにする。また、7月に行く「げんきキャンプ」のプログラムの場面カード等を使い、季節や場面をイメージできるようにする。

自分の服の中から「季節」や「場面」に合った服を絵の中のマネキンに着させ、見合い、意見を交流させることで、「衣服のコーディネートの仕方」について学べるようにする。

(2) 本時の目標

生活場面や活動場面・季節や気温に合わせた衣服のコーディネートの仕方が分かる。

(3) 本時の展開

学習内容	教師の手立て ◇評価	教材・教具
<p>1. 活動計画表を見て、前時の振り返りと、今日の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習計画表を提示することで、前時の振り返りや、今日の学習課題に見通しをもちやすくする。</p>	<p>学習計画表</p>
<p>ばめんに ^あ合った ^{ふく}を ^{コーディネート}しよう。</p>		
<p>2. T2の着ている服を見て、感じたことを話し合い、コーディネートする際の観点についてまとめる。</p> <p>[設定場面] げんきキャンプの 「スポーツ大会」陸上競技場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動するときにスカートは変だよ。 ・セーターは暑いんじゃないの？ ・半そでの方が涼しいよ。 ・こっちの服の方が動きやすいよ。 	<p>○T2は、陸上競技場と合わない、セーターやスカートをはいて登場し、「涼しさ」「動きやすさ」等に視点が向くようにする。</p> <p>○素材や、服の特徴に気付かせるために、他の服をいくつか提示し、自由に触る時間を設定する。</p> <p>T2に服を当てて、自由にコーディネートできるようにする。</p> <p>○子供の意見やつぶやきを、T1が、板書し、「コーディネートする際のチェックポイント」として振り返られるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なつの コーディネートの ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふくのかたちに 気をつける ○すずしい そざいを えらぶ。 ○ばしょに ^あ合わせる。 </div>	<p>T2教師の服 場面カード ハンガー 洋服</p>
<p>4. 「スポーツ大会」「野外炊飯」</p>	<p>○「^{はんそで}半袖」「^{ながそで}長袖」「^{あつい}厚い」「^{うすい}薄い」等の服の特徴を服</p>	

<p>の場面に合わせたコーディネートを考え、自分たちがもってきた服を絵に貼った後、お互いに見合い意見を交流する。</p> <p>5 学習の振り返りをする。</p>	<p>に貼っておいたり、「あたたかい」「すずしい」「らくちゃん」「きっちりしている」といった言葉を提示しておくことで、服を選んだ理由について説明しやすくする。</p> <p>○「暑い顔シール」「恥ずかしいシール」「きもちいいシール」を使い、視覚的に「暑い」「恥ずかしい」「きもちいい」が分かるようにする。また、シールを友達のコーディネートを見て貼ることで、自分のコーディネートへの評価・意見を見て分かるようにする。</p> <p>○個人が振り返りやすいようなワークシートを渡す。字を書くのが苦手な子供には、教師が聞き取り、黒板に文章を書いてあげるようにする。</p> <p>○意見を交流し、気づいた友達のコーディネートの良さについても参考にしながら振り返らせる。</p> <p>◇場に合った服を服の素材等を考慮しながら選択し、気持ちよく衣服を着るための方法を考えている。(高学年)</p> <p>◇場に合った服を正しく選択し、気持ちよく衣服を着るための方法を考えている。(低学年)</p>	<p>顔シール</p> <p>自分達もってきた服</p>
---	--	------------------------------